

計画項目番号	55	計画担当部課	教育委員会 生涯学習課			
基本的方策	IV 適正な財政運営	計画作成部課	教育委員会 生涯学習課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	教育委員会 生涯学習課			
計画項目名	社会体育施設の保守点検					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	<p>学校遊具については、他の自治体等における事故の発生事案を受けて毎年点検を行っているが、社会体育施設・設備については、これまで定期的な安全点検は行ってこなかった。しかし、施設・設備によっては、万一破損すれば大事故につながる危険性もある。このため、今後は社会体育施設・整備の定期的な保守点検を行うこととし、必要に応じて修繕や更新を図る。専門業者に委託し、年1回程度の定期点検を行うものとする。</p>					
取組による効果 (具体的目標)	<p>定期的な点検によって、大規模修繕を要する前に対応することで施設・設備の長寿命化を図り、長期的には支出の削減を目指す。また、重大事故の発生を未然防止し、利用者の安全を図る。</p>					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	社会体育施設のトレーニング機器・屋外照明施設他、故障がけが等危険につながる施設の定期点検・メンテナンス。耐用年数を過ぎたものの更新。	前年度に同じ	前年度に同じ	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標	次年度以降の予算確保に取り組む	社会体育施設維持修繕の全体計画の策定。	定期点検の実施。維持修繕計画に従い、また必要に応じて修繕・更新。	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標の説明 (数値目標の場合は根拠)					
実 績	取組内容					
	目標に対する結果					
	結果の説明 (数値結果の場合は根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由及び説明					
見直し	計画改良が必要な点、翌年度以降計画の何を見直したか					
備考 (特記事項)						

計画項目番号	56	計画担当部課	教育委員会 生涯学習課			
基本的方策	Ⅲ 市民と行政の自立（自律）	計画作成部課	教育委員会 生涯学習課			
重点項目	ii 地域活性化活動の推進支援	計画関係部課	教育委員会 生涯学習課			
計画項目名	神岡図書館の移転リニューアル					
現状と課題 （取組の必要性） 取組項目の概要 （具体的手法）	<p>神岡図書館は、昭和53年の建築から35年が経過し、老朽化が著しい。そのため、平成21年7月に開館した飛騨市図書館に比べ利用状況に大きな隔たりがある。一方、神岡振興事務所も昭和53年建築であるが、耐震補強工事による継続使用が予定されており、内部には多くの空きスペースがある。</p> <p>このことから、耐震補強工事に併せて図書館機能を持たせる改築を行い施設全体の有効活用を図るとともに、神岡図書館のリニューアルによる利用者の利便性向上を図り、神岡町公民館と併せて神岡地区の文化振興の拠点施設とする。（神岡振興事務所の耐震補強工事に伴い、神岡図書館を神岡振興事務所の空きスペースに移転する。）</p>					
取組による効果 （具体的目標）	施設の有効活用。神岡図書館の利用者増。					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	神岡振興事務所耐震補強工事の実施設計に対する図書館としての要望の提案	神岡振興事務所耐震補強工事	現図書館から神岡振興事務所内への移転		
	目標	利用者数目標 7,300人 (24.9人/日)	利用者数目標 7,300人	利用者数目標 14,600人	利用者数目標 15,400人	利用者数目標 16,200人
	目標の説明 （数値目標 の場合は 根拠）	平成25年度の利用者数 7,334人 開館日数293日 25人/日	前年同数	前年の100%増	前年の5%増	前年の5%増
実 績	取組内容					
	目標に 対する結果					
	結果の説明 （数値結果 の場合は 根拠）					
評 価	評価					
	評価の理由 及び説明					
見 直 し	計画改良が 必要な点、 翌年度以降 計画の何を見 直したか					
備 考 （特記事項）						

計画項目番号	57	計画担当部課	教育委員会 生涯学習課			
基本的方策	Ⅱ 行政施策の再構築	計画作成部課	教育委員会 生涯学習課			
重点項目	ii 全市有施設の将来的方針の検討	計画関係部課	教育委員会 生涯学習課			
計画項目名	生涯学習施設の再編					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	<p>生涯学習施設の中には耐震強度が不足する施設が存在する。今後も利用するためには数億円の耐震補強工事が必要となるが、旧小学校校舎等は現在の利用状況に対して施設が大きく、老朽化も進んでいるため、耐震補強のうえ使用するには無駄が生じることが予想される。このため、耐震補強を行うのではなく、利用者に他の施設を利用していただくなど、施設の利用形態を見直すことで、将来的に改修費を要する施設を廃止することで効率化を図りたい。</p> <p>桜ヶ丘プール撤去と桜ヶ丘体育館防火用水新設、神岡小プール改修と連携しての旭ヶ丘プール廃止、河合プール、屋外照明施設等、利用頻度の低い施設の必要性を検討する。</p> <p>また、直営のコミュニティ施設のうち特に老朽化が進んでいる施設については、地域性も考慮しながら、譲渡・廃止を視野に入れた地元協議を進めていく必要がある。</p>					
取組による効果 (具体的目標)	有効活用されていない施設の整理統合により、維持管理経費を抑制するとともに、事故や犯罪等の防止を図る。					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	神岡東生涯学習館、山田生涯学習館内の民具の保管場所としてみやがわ考古民俗館を整理する	生涯学習施設の再編の全体計画の策定 みやがわ考古民俗館の改修 元田運動広場、宮川山村広場等の夜間照明撤去 旭ヶ丘プールのあり方の検討 河合町森林体験交流施設（天生公民館）の無償譲渡について地元と協議する。	神岡東生涯学習館の神岡町史編纂資料、社会福祉協議会なかよしキッズ、陶芸室について、移転先を検討 旭ヶ丘プール解体計画 山田生涯学習館の廃止、解体 河合町高齢者活動・生活支援促進機械施設（羽根公民館）及び宮川町指定管理施設の今後の方針について協議（譲渡、廃止、新築等）	神岡東生涯学習館の利用団体の移転 旭ヶ丘プール解体 河合町高齢者活動・生活支援促進機械施設（羽根公民館）及び宮川町指定管理施設の今後の方針について決定	神岡東生涯学習館の廃止、解体
	目標		削減額 139千円	削減額 711千円	削減額 2,243千円	削減額 4,279千円
	目標の説明 (数値目標の場合は根拠)		夜間照明維持経費の減額 元田運動広場 132千円 宮川山村広場 7千円	施設維持経費の減額 山田生涯学習館 274千円 河合町森林体験交流施設（天生公民館） 298千円	施設維持経費の減額 河合町高齢者活動・生活支援促進機械施設（羽根） 432千円 旭ヶ丘プール 1,100千円	施設維持経費の減額 神岡東生涯学習館 2,036千円
実 績	取組内容					
	目標に対する結果					
	結果の説明 (数値結果の場合は根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由及び説明					
見直し	計画改良が必要な点、翌年度以降計画の何を見直したか					
備考 (特記事項)						

計画項目番号	58	計画担当部課	教育委員会 生涯学習課			
基本的方策	Ⅲ 市民と行政の自立（自律）	計画作成部課	教育委員会 生涯学習課			
重点項目	ii 地域活性化活動の推進支援	計画関係部課	教育委員会 生涯学習課			
計画項目名	生涯学習・文化活動の推進					
現状と課題 （取組の必要性） 取組項目の概要 （具体的手法）	<p>飛騨市では、乳幼児期の乳幼児学級、学齢期には子ども会、PTA、スポーツ少年団への支援、成年期には公民館講座の実施、文化協会や体育協会への支援、高齢期にはシルバー学級での生きがい対策等の事業を行っているが、より一層の活性化と充実化が求められている。</p> <p>このため、今後は、更に地域社会において女性が個性と能力を発揮できる環境の実現を目指し、地域を見つめなおすことができるような学習機会を提供していく。</p> <p>また、文化活動については、文化協会への支援の他、地域文化振興補助事業を実施し、市民の文化活動を支援している。市民自身の文化活動と一流の芸術の鑑賞活動は車の両輪であることから、今後は文化協会や各種団体との連携をより深め、市民が自発的に行う多種多様な文化活動の推進を図る。</p>					
取組による効果 （具体的目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の一層の地域社会、市政への参加と関心の高まり ・文化活動に携わる市民の増加 					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	新年度に向けた計画・準備	①女性を対象とした研修会・交流会の実施 ②文化団体横断研修の実施	①女性を対象とした研修会・交流会の実施 ②文化団体・文化振興のあり方について協議	①女性を対象とした研修会・交流会の実施 ②文化振興基本計画の策定	①女性を対象とした研修会・交流会の実施 ②文化振興基本計画に基づいた文化振興事業の実施
	目標		同上	同上	同上	同上
	目標の説明 （数値目標 の場合は 根拠）					
実 績	取組内容					
	目標に 対する結果					
	結果の説明 （数値結果 の場合は 根拠）					
評 価	評価					
	評価の理由 及び説明					
見 直 し	計画改良が 必要な点、 翌年度以降 計画の何を 見直したか					
備 考 （特記事項）						